

ぜひ家族のみなさまでお読みください

玉永寺通信

2024
正月
第67号

発行所：富山市水橋小出 52 真宗大谷派 玉永寺



本年もよろしくお願い申し上げます

上の写真は2023年11月28日、親鸞聖人御正忌（ごまんさん）の様子です。

この4年間、コロナウイルス感染症のまん延により、行事の際の飲食物の提供は原則として中止してきましたが、今回久しぶりに「いとこ煮」をふるまうことにしました。

「いとこ煮（遺徳煮）」とは、親鸞聖人が小豆が大好きであったという伝承にもとづいた、みそ仕立ての根菜汁です。富山の郷土料理であり、御正忌にはこの料理をそれぞれの家庭で味わってきました。今回、懐かしい優しい味を皆で楽しむことができました。

各地のイベントは復活しつつありますが、コロナから顕著となった、法要や葬儀を家族だけでつとめるといふ風潮はなかなか元に戻りません。大勢の近所の方々や友人たちが、故人を前にしてともに教えを聴き、仏に手を合わせるお通夜もなかなか復活しません。

いとこ煮を味わいつつ、社会がコロナの痛手から立ち直るとともに、ともに聴聞する場をなんとか回復できないものかと考えていました。

とにかく明るい除夜の鐘 2023

～安心してください、誰でも参加できますよ!～

12月31日(日) 14:00～ お参り
14:30頃～ 鐘つき



2022年除夜の鐘
大変多くの方に
ご参加いただきました

お菓子、用意しております!

世界が平和であってほしいニャ

明るい日差しの中かで一年をふり返り

今年最後の日をすごしましょう



“Don't worry, We're waiting...FOR YOU!”

富山市水橋小出52 真宗大谷派 玉永寺

2023年10月1日、「おみがきとおつとめの会」を開催しました。仏具を磨き（左の写真）、金山哲成さん（滑川市岩隆寺住職）を講師として三洵六首引き勤行のリハーサルを行いました。

報恩講の初日（15日）は玉永寺住職が講師をつとめました（下の写真）。二日目（16日）は瓜生崇さん（滋賀県玄照寺住職）が講師で、夜は上市町横越クロポツケでもお話をしていたきました。

開催に協力してくださった皆様に心から御礼申し上げます。お力添えがなければこれらの行事を続けることができません。お呼びかけ致しますので、今年は初めての方もぜひ、ご参加ください。



御門徒のみなさまとともに 玉永寺報恩講をお勤めしました



おつとめの会、クロポツケ法話会は、3月から再開する予定です。

住職コラム

この戦争と感染症の時代に

ロシアとウクライナの戦争に続いて、イスラエルとハマス衝突のニュースが連日報道されています。残酷な映像が続き、目を背けたくなります。一方、コロナウイルスの脅威は徐々に鎮まっていますが、インフルエンザなどの感染症の

まん延に、依然わたしたちは神経を尖らせなくてはなりません。

昨年は親鸞聖人ご生誕850年でした。春には本山での法要にご門徒の皆様とともにお参りすることができましたが、聖人の時代も源氏と平氏の戦乱と流行り病によって、数多くの人々が亡くなっていました。

聖人や私たちの時代だけではなく、「争い」と「病い」は人類が常に苦しみ悩んできた問題なのでしょう。それは「地獄」という言葉に譬えられました。地獄とは言葉が通じない孤独な世界です。しかし「地獄に仏」と言いますが、そこに一人でも友を見出すことができれば、どれほどの救いとなる事でしょうか。

上の紙芝居「しんらんさまと少年かん太」は、盗みを重ねる孤独な少年が、それでも阿弥陀仏に見守られていることを聖人から教えていただく物語です。こうした紙芝居を使って、この時代にこそお念仏の教えに出会うことの大事さを、お話していきたいと思っています。合掌



○電柱広告を設置しました

玉永寺へ来られる方が、カーナビを使っても隣接する神社に誘導されてしまうというご指摘を受けていました。検討した結果、左の写真のような広告を設置しました。除夜の鐘、初参りでお越しの際、ご覧になってください。



近隣から眺める立山連峰